

「親子キャンプ」

～ササビーと遊ぼう～

1. 趣旨

「冒険と創造の森を活用した運動プログラムの開発委員会」で開発した、「幼児期の遊びを中心とした運動プログラム」を幼児の発達段階に応じ、親子で実施する。また、親子でハイキング等野外活動を通じて、自然体験の楽しさに触れるとともに、親子の交流を深める。絵本読み聞かせでは、絵本の世界に触れることで、豊かな心の育成を図る。

2. 事業の概要

(1) 期日

令和4年9月24日(土)～25日(日)

(2) 参加者

- ①参加対象 幼児(年中、年長)とその保護者 ※兄弟姉妹がいる場合も可
- ②参加人数 29名(9家族)

3. 企画運営のポイント

- ①運動体験遊びでは、「幼児期の遊びを中心とした運動プログラム」を取り入れて、親子で一緒に体を動かして遊ぶ。
- ②絵本専門士による絵本読み聞かせでは、子供の豊かな心を育成する。また、絵本の紹介や読み聞かせのコツを伝え、家庭での読み聞かせの参考となるようにする。
- ③「所外活動(赤城自然園散策)」では、親子で一緒に自然を感じながら、親子の交流を深める機会を設ける。

4. 日程

	午前	午後	夜
9月 24日 (土)		開会式 運動遊び 絵本読み聞かせ	焚き火(自由参加)
9月 25日 (日)	所外活動(赤城自然園散策)	閉会式	

5. 主な活動内容



「運動遊び」



「運動遊び」



「絵本読み聞かせ」



「焚き火」



「赤城自然園散策」



「赤城自然園散策」

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足8家族(89%) やや満足0家族 やや不満1家族 不満0家族

(2) 参加者の声

- ・子供達が楽しく遊んでいる姿が見られてよかった。
- ・いっぱい身体を動かしてたくさん色々なことができたので、また参加したい。
- ・子供達は『これ読んでみたい』と興味をもっていた。
- ・子どもも大人も充分楽しめるプログラムだった。
- ・日頃、火を扱うことが子供は少ないので、とても良い経験になったと思います。

(3) 成果

- ①運動遊びでは、元気いっぱいに遊ぶ子供子どもの姿や親子で楽しそうに遊ぶ姿が多く見られたことからプログラムの内容は良かったと考えられる。
- ②親子で楽しそうにマシュマロを焼いていた。焚き火を囲んで、大人同士、子供同士の家族を超えた交流が自然に生まれた。
- ③赤城自然園では、交流の家から持参したボールやフラフープなどを子供たちが上手に使って遊び、ボランティアも交えて、家族で楽しく交流していた。

(4) 課題

- ①まえばし赤城山ヒルクライム大会の交通規制のため、赤城山登山ができないことが参加募集開始後に発覚し、赤城自然園散策に変更した。周辺イベントに注意して開催日やプログラムを企画する。
- ②天候によるプログラム変更で時間に余裕が生じた。手遊びやゲームなど隙間時間を埋める手段を準備し、柔軟な対応ができるようにする。
- ③絵本の紹介や読み聞かせのコツなど大人向けの話を親子で一緒に長時間聞くのは難しかった。

担当 企画指導専門職 杉山 直弥